日光市で活躍している人、サークルを紹介します

クローズアップ 日・光・人

涼　風花（りょう ふうか）さん　落合地区　出身

テレビや雑誌、新聞などで「美し過ぎる書道家」と話題になり、タレント活動も行っている、日光観光大使で書道家の涼風花さんを紹介します。

涼さんと書道の出会いは小学2年生の時。祖母に「お小遣いをあげるから書道をやってみたら」と言われたことが、始めたきっかけでした。最初は小遣いに釣られてやっていましたが、続けていくにつれ、徐々に書道の魅力にはまっていき、中学二年生の時に書道師範の資格を取る程に上達しました。

書道の魅力を「手本となる書物が平安時代や江戸時代から伝わってきているもので、歴史の深さを感じるところ」「雑念を振り払い集中でき、リラックスもできるところ」と話す涼さん。

イベントでの書の作成風景

普段はイベントなどで書道パフォーマンスを披露したり、企業ロゴの作成やイベントの題字などを書いたりしています。書の作成は着物で行うため、お気に入りの着物が墨で汚れてしまうと、泣きたくなるそうです。

そんな涼さんのこだわりは、文字を書くときは、その由来や成り立ちを相手に伝えられるように心掛けていることです。

今でも頻繁に地元に帰って来る涼さん。生まれ育った日光市の魅力を聞きました。「正直なところ、日光に住んでいた頃はその魅力にはあまり気付きませんでした。東京で暮らし、日光に帰ってきた時に、人と人のつながり、優しさを感じられる場所だと気付きました。また、街全体としても、世界遺産に頼りっぱなしになっていない、時代に合わせて上手に変化していっているところが魅力です」。

最後に今後の目標について、「書道師範の資格は持っていますが、書道の世界では40～50年続けてやっと一人前なので、一人前になった時に書道教室を開きたいです。また、小さい頃からの夢でもある大河ドラマに出演し、題字を自分で書くことも目標です」と真っ直ぐ凛（りん）とした表情で話してくれました。

ブログ（http://ameblo.jp/ryo-official/）などで市を応援してくれている涼風花さん。大河への夢、ぜひかなえてください。

紹介したい人、サークルを募集しています！

クローズアップ日・光・人では、活躍している人、サークルを紹介しています。このコーナーで紹介したい人やサークルの情報がありましたら、ぜひお寄せください。なお、自薦、他薦は問いません。

※掲載にふさわしくない活動内容が含まれている場合、紹介をお断りすることがあります。

連絡先及びくわしくは
秘書広報課　広報広聴係
☎（21）5135

みんなの投稿でつくる 地域NEWSリレー

駅からハイキングに協力【8/4・日光】

日光明峰高校は、今年もJR東日本の駅からハイキングに協力しました。

日光を訪れた約600名が、JR日光駅からゴールの日光明峰高校を目指す中、生徒手作りの紙芝居による歴史の説明や、校庭でのお茶のおもてなし、市まちづくりアカデミーの一環で作成した卓上カレンダーのお土産などで、日光の魅力を伝えました。

文・写真：日光明峰高校

童話・児童文学セミナー【8/12・今市】

全3回で行う童話・児童文学セミナーの第1回目を、今市図書館で開催しました。

25名の参加があり、講師のいとうみく先生が「想像するって、おもしろい」のテーマに沿って、作品を書く喜びや難しさを話してくれました。会場は笑いが起こるなど、終始和やかな雰囲気のセミナーでした。

文・写真：今市図書館

入坑者数800万人達成【8/12・足尾】

足尾銅山観光は、昭和55年のオープン以来、入坑者数通算800万人を達成しました。800万人目となったのは、東京都荒川区の松本祥男（まつもとよしお）さん一家。松本さんには、副市長から銅製品の記念品と花束を贈呈しました。

松本さんは、「足尾に来たのは初めて。良い思い出になります」と笑顔で答えてくれました。

文・写真：足尾銅山観光

有機農業ほ場見学会【8/20・今市】

有機農業に取り組む岩崎の駒場誠一（こまばせいいち）さんのほ場で、上都賀地区有機農業推進公開ほ場見学会が開催されました。

宇都宮短期大学付属高校調理科の生徒をはじめ、約40名が参加しました。

ほ場見学後は、駒場さんが愛情を込めて作った有機野菜などを試食。珍しい野菜が多数あり、参加者は興味深そうに見学しました。

文・写真：農林課

本庁舎整備検討市民委員会【8/24】

本庁舎の整備について検討を行う、日光市本庁舎整備検討市民委員会を開催しました。本庁舎は昭和44年の建築で、平成21年度に耐震診断を行い、耐震性が低いとの結果が出ています。

委員会は今年度中に全7回を開催予定で、第1回目の今回は、委嘱状の交付、事務局による現状説明などの後、庁舎の見学を行いました。

文・写真：庁舎整備準備室

シンポジウムを開催【9/1・今市】

放射性物質による、健康への影響や食の安全性について理解を深めるため、シンポジウムを開催しました。

いちいクリニック院長の梶谷博（かじたにひろし）氏をコーディネーターに、自治医科大学の菊地透（きくちとおる）氏、消費者庁の金田直樹（かねだなおき）氏、NPO法人なんとなくのにわの手塚郁夫（てづかいくお）氏、日光市長で、パネルディスカッションを行いました。

文・写真：危機管理放射能対策室

地域のニュースを募集しています!!

このコーナーでは、皆さんから記事と写真の投稿を募集しています。

募集する記事　自治会の催しや、地域のちょっと珍しい出来事、心温まるエピソードなど
※内容によっては掲載できない場合があります。

応募方法　記事に写真を添え、住所・氏名・電話番号を明記の上、持参または郵送、メールでご応募ください。
○記事…140字程度（題名、日付、場所を別に記載してください）
○写真…紙焼きしたもの・デジタルデータどちらでもOKです。ただし、携帯電話のカメラで撮ったものなど、大きくした際に画像が荒れてしまうものは不可とします。

あて先　〒321-1292
今市本町1番地
日光市役所　企画部
秘書広報課　広報広聴係
メール　hishokouhou@city.nikko.lg.jp